

箸や椀などへの絵付けに加え、拭漆も体験できる。世界に一つだけの「マイ漆器」は旅の思い出になるだろう



景色を眺めながら、お気に入りの漆器カップでいただくコーヒーは格別。つつい長居してしまうカフェコーナー



使い方を提案することで、来店客の目にとまる機会が増えた「うつろい」シリーズは、カトラリー類も合わせてそろえたい

木製山中漆器  
うるしの器  
あさだ  
(加賀市)

コロナ禍で苦境に立つ事業者は数多ある。一方で、逆境に強い経営体質に生まれ変わった企業も多い。山中漆器の製造販売を手掛ける浅田漆器工芸(加賀市)もその一つだ。観光客がパタリと途絶えたピンチから伝統産業を救ったのは、思わず手に取りたくなる「魅せる」陳列だった。

お客さま目線の「魅せる」陳列

来店客の満足度アップ

今、店内に入ってもまず目に飛び込んでくるのは、「うつろい」シリーズによるテーブルコーディネート。「見せる商品で魅せる」ため、店内に並べる商品数はぐっと減らし、「ぬくもり」のコンセプトに沿った温かみのある色合いで統一感を出した。

長年、商品陳列や店舗づくりに課題を感じていた浅田専務に救いの手を差し伸べたのが、石川県信用保証協会である。「商品陳列などの専門家である東野奈津恵さんを紹介いただいて、店内を大改造しました。正直、商品さえ並べれば売れると思っていたので、以前は雑然としていて…。お客様に『何がおすすめか分からない』とご指摘を受けたこともあったんです」

工房見学を新たに取入れ、絵付け体験は景色を愛でながら楽しめる2階へ

看板商品は「うつろい」

石川の伝統工芸である山中漆器の木地師だった初代。その後、製造・販売業に転換し、現在、洋漆器を提案するのが、四代目にあたる専務の浅田明彦さん(33)だ。「四季の移り変わりを色で表現するとともに、伝統的な漆器も現代に合わせて移り変わるという意味を込めて、『うつろい』と名付けました」

コロナで途絶えた客足

2018年にお披露目したシリーズの素材はすべて木で環境にやさしい。その質感や味わいを大事にする伝統を守りながらも、普段使いできるとしてSNS(会員制交流サイト)などを通じて評判を呼び、瞬く間に看板商品に成長した。

ところが、観光客が店を訪れても、なかなか手に取ってもらえない。もともと受け入れていた絵付け体験を楽しんだら、あつという間に帰ってしまう。追い打ちを掛けるように、コロナで客足が遠のいた。浅田専務は振り返る。

「観光客頼みでしたので影響は相当ありました。だけど私には腕のいい職人を



「うつろい」シリーズを紹介する浅田夫妻。春・夏・秋・冬を表現した優しい色合いと、普段使いできるデザインはファンが多い

手厚いサポートに感謝

夫婦は言う。「コロナのおかげで意識を変えることができたと思っています。一緒に店舗づくりに取り組んでいただくなど、親身になってサポートしてくださった信用保証協会の皆さんには感謝しありません。東野先生からの指導を忘れず、多くの方に愛される企業を目指していきます」。

そのお悩み、相談してみませんか？

石川県信用保証協会では、事業者の皆様の課題解決に向けて専門家を無料で派遣しています。ぜひ一度、ご連絡ください。

あなたに寄り添う.....

石川県信用保証協会 Tel. 076-222-1550

石川県信用保証協会 検索

【絵付け体験(一例)】

箸 2,750円 + 送料(924円~)

椀 3,850円 + 送料(924円~)

\*お一人様あたりの料金です。  
\*価格はいずれも税込みです。

asada craft of japan ware, inc.

有限会社 浅田漆器工芸  
加賀市山中温泉菅谷町ハ215  
電話 0761(78)4200  
営/9:00~17:00  
休/年末年始

<https://asada-shikki.com/>